



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第22号 (2005年3月31日)

特別チェロサロン開催

11月27日(土) 待望の堤会長による特別チェロサロンが開催されましたのでご報告します。

日 時 11月27日(土) 14:00~17:30
会 場 サントリーホール・リハーサル室
参加費用 無料。交通費は各自負担。
講 師 堤 剛先生
参加人数 22名 [講師1名、会員17名(男性10女性7
うち聴講のみ女性2名)、事務局4名]
アンサンブル曲目 フUNK:組曲

プログラム

堤先生のご提案で参加者全員で円形に座り、レクチャーがスタートしました。質問コーナー・ワンポイントアドバイス・クリニック(4名)そしてアンサンブル(16名)と盛沢山の内容でした。「質問コーナー」の中で、特に質問の多かったのはビブラートのかけ方についてでした。以下、レクチャーの様様をレポートします。

Q1: 親指でビブラートをかけるにはどうしたら良いだろうか。

堤先生: ビブラートには、伝統的なローリングと、腕の上下運動を使うアームビブラートの2タイプがある。親指でかけるときは、アームタイプの方を使うとやりやすい。

Q2: ビブラートを全部の指とも同じようにかけるにはどうしたら良いだろうか。

堤先生: 人間の身体の作りだから(違いが出るのは)仕方がない。しかし実際、同じようにかけるのが良い。だから、音の違いは何故生まれるのかを研究してみる。例えば、腕の動き方が違うのではないかと、思ったら、腕の動きを変えてみるなど、いろいろ試してみる。親指のサポートは精神的にも物理的にもとても有効。ひとつポイントとしては、弦の上ではなく、指板の上に指を置いていると思うと、意外とやりやすい。

Q3: バッハの時代、ビブラートはかけなかったそうだが、今の時代バッハを弾くにあたって、どのようにかけるのが良いだろうか。

堤先生: バッハの曲のエッセンスは和声進行なので、それが良く聞こえるようにかけると良い。即ち、多声音楽として聞こえるようにビブラートで補助をする。具体的には、下の通奏低音である音にビブラートをかけると、バスの進行がはっきりと聞こえる。ライブツィヒでバッハは、隣のポーゼ邸のサロンでよく演奏会を開いていた。そのサロンに行ってみたら、天井が高く残響が多いので、



自然とバッハの音楽が多声音楽に聞こえるようだった。Q4: モーツァルトの時代にはビブラートはどのようなものだったか。

堤先生: モーツァルトは少年の頃、マンハイムというドイツの街でビブラートを使った弦楽演奏を目の当たりにして凄いと感銘を受けた。マンハイム学派は新しい試みをする精神があり、彼らがビブラートを始めた。

最後に堤先生から、チェロを弾く上で技術的に大事なこと3点が挙げられました。

1. 物事を先取りすること
2. 力を抜くこと *力を入れないというのではなく、力を入れた後抜くこと。即ち、音が出た後に、その音を倍音に変えるということ。
3. 呼吸: チェロを弾くのも、歌を歌うということ。



【タイムテーブル】

時 間	内 容	詳 細
13:40	受付	出欠チェック
14:00	開会の挨拶	事務局長 飯田より挨拶、先生ご紹介。
14:05~15:05	質問コーナー	堤先生よりプログラム紹介。
15:05~15:25	ワンポイントクリニック	
15:25~15:35	休憩	
15:35~16:30	クリニック	受講者：4名
15:35	末松 悦子さん	Duport：練習曲11番
15:50	福永 文子さん	ハイドン：C-Dur 1 楽章
16:05	三木 隆二郎さん	バッハ：アリオソ
16:15	水上 美亜さん	ハイドン：コンチェルトニ長調
16:30~17:00	アンサンブル	フンク：組曲
17:00	懇親会	
17:30	終了	

参加者の声

末松悦子さん (R - 143)

昨日のチェロサロンでは大変お世話になりました。
堤先生はだれよりも早く会場にいらっしゃり、あのように遅くまで私たちにお付き合い下さり感謝の言葉もございません。

おかげさまで本当に充実した時間を過ごすことができました。先生のご指導を心に刻み、また練習に励みたいと思います。

先生のリサイタルも楽しみにしておりますが、来年のチェロコンgresも偶然、昨日楽譜が届きました。

また課題の曲に取り組むにあたり、身が引き締まる思いをしております。

いつもチェロサロンの恩恵にあずかり、厚く御礼申し上げます。これからもよろしくお願ひします。

三木隆二郎さん (R - 001)

日本チェロ協会特別チェロサロン参加メモ

1. ハーモニクスをうまく弾くコツ
 - 1) 4度の間隔はオクターブの間隔と同じ



- 2) 弓を引く場所はコマそば
- 3) 弾くスピードは早目
- 4) 弾くスピードをスローダウンしない
2. ビブラートをうまくかけるコツ
 - ・腕の上下の動きで (Arm Vivrate) かける。指板の上に指を乗せてかけるイメージ。
 - ・ビブラートは音の波を作るとイメージして弾くと、音が通るビブラートになる。
3. ボーイング
 - 日本語の上げ弓、下げ弓は英語のup、downから来ているが、これはヴァイオリンの場合であってチェロには実はイメージが違う。むしろフランス語の引く (tirez)、押す (pusser) の方がイメージは合う。下げ弓はtirez、上げ弓はpusserと覚えると良い。
4. カザルスから堤氏が子どものころにレッスンを受けて覚えたこと
 - 1) Anticipation (次の音符を見ながら、今の音を弾く)
 - 2) 力を抜く
 - 3) 呼吸を吸って吐き出しながら演奏を始める
5. 速いパッセージの弾き方
 - 右手に合わせて左手の指を回す。(逆では間に合わない) ゆっくりした曲は細かく数え、速い曲は大きくくりで数える。
6. 足で拍子を取る方法
 - ・つま先とかかとを交互に上げる
 - ・右足と左足を交互に上げる
7. バッハの弾き方
 - ・多声音楽なので、基本は和声進行が重要。
 - ・重要な通奏低音付きの高音部パートについてはビブラート必要。
8. モーツァルトの弾き方
 - ・一つ一つの音で弦が振動するよう、つづを揃え、右腕で弓を引っ張り、押すイメージ。
 - ・モーツァルトが旅に出てマンハイム楽派がビブラートを使い始めていたので、影響を受けて、10歳の頃、弦楽器の曲をたくさん書き始めた。
9. アリオソを弾いて

Q: 十六分音符のビブラートのかけ方はどうすれば良いか?

A: フレーズでかけると良い。また、前打音はゆっ

くりとかける。高音へのシフトは力を抜いてシフト。

水上美亜さん (R - 091)

大変遅くなりましたが、先日はお世話になりました。久しぶりに堤先生にレッスンして頂いて感激しました。

直接自分が指摘された事だけでなく、あの日の全般に渡ってのお話を思い出しながら練習していますが、大変意義深いお話ばかりで参加できて本当に良かったと思います。また、皆さんとても素敵な方ばかりで、短い時間でも (レッスン自体は予定時間オーバーの大変中身の濃い素晴らしいものでしたが！) 楽器を通じていろいろな方と交流できてとても楽しかったです。

2004年度第3回評議委員会 実施報告

2月24日に今年度第3回評議委員会が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。尚、2004年度決算報告 (実績) は4月以降、会員の皆様に送付させていただきますのでご了承下さい。

開催日時 2005年2月24日 (木)
場 所 サントリーホール・会議室
出席者 (会長) 堤 (副会長) 中島 (書記) 山崎 (評議委員) 倉田、松本 (事務局長) 飯田 (事務局) 竹田、溝口、奥貫 (9名)

I. 2004年度活動報告 (見込)

1. 総会、評議委員会の開催

ア. 総 会

6月6日 (日) 於: サントリーホール

- 【議事】・2003年度活動報告および決算報告
・2004年度活動計画および予算案
・チェロコンgres概要報告

イ. 評議委員会

第1回6月6日 (日)

第2回11月25日 (木)

第3回2月24日 (木)

2. サマーキャンプの開催

7月11日 (日) 中島顕先生、倉田澄子先生、山崎伸子先生 於: サントリーホール (参加者20名)

3. 会報等の発行

6月30日会報第20号・総会開催・ホームページ開設・チェロサロン開催 (倉田澄子先生)
9月30日会報第21号・サマーキャンプ開催・チェロサロン開催 (荻田雅治先生)

3月31日会報第22号・特別チェロサロン (堤先生) ・チェロコンgres案内他

4. ホームページの充実

2004年3月に開設し、協会の活動内容・会員コンサート情報等を掲載している。

ホームページのさらなる充実を図る。

協会概要、活動内容追加

コンサート情報 28件掲載、イベント情報5件掲載
チェロコンgresHP、サントリーホールHPとのリンク

5. チェロサロンの開催

11月27日 (土) 堤剛先生於: サントリーホール (参加者20名)

〔4月10日予定〕河野文昭先生於: サントリーホール

6. マスタークラスの開催

未実施

7. インターナショナル・チェロ・コンgres・イン

神戸 (ICC) 開催準備

会議出席

ア. 実行委員会 9 / 27 (月) 1 / 12 (水)

イ. 事務局会議 4 / 7 (水) 5 / 2 (日)

6 / 7 (月) 7 / 28 (水) 9 / 10 (金)

10 / 18 (月) 11 / 8 (月) 12 / 2 (木)

1 / 11 (火)

他、プログラム委員会等。

マスタークラス募集要項作成、募集窓口 (応募件数31件)

案内パンフレット、ちらし送付 (チェロ協会会員・音大・全国主要大学および高校・海外)

寄付、全体登録への呼びかけ

日本チェロ協会

2004年度 決算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	2004年度予算額	2004年度決算(見込)額	摘要
会費	1,300,000	1,291,000	会費:1,270,000(法人2社 320,000+一般135人852,000+学生34人105,000)/入会金:14人=14,000
入場券	60,000	7,000	サマーキャンプ参加費7枚
雑収入	-	16	受取利息
前年度繰越金	3,355,488	3,355,488	
計	4,715,488	4,653,504	

【支出の部】

(単位：円)

項目	2004年度予算額	2004年度決算(見込)額	摘要
会報作成費	300,000	404,250	会報20~22号:131,250×3+19号PDF化10,500(予算2回 実績3回発行)
通信費	200,000	69,800	会報、会員証郵便料 コンgress関連郵便・宅急便料:210,283は立替金計上
便箋・封筒等制作費		-	
総会・評議委員会経費	50,000	225,135	評議委員交通費:203,460/弁当代:21,675
事務諸経費	10,000	11,940	宛名ラベル・ちらし用紙、振込手数料等
会員証作成費	5,000	-	在庫用紙を使用
事業費	300,000	72,977	サマーキャンプ評議委員交通費:23,080/サマーキャンプ懇親会補助・チェロサロン軽食代:49,897 マスタークラス未実施
ホームページ運営費	500,000	252,000	21,000×12
次年度への繰越し	3,155,488	3,617,402	
計	4,715,488	4,653,504	

2005年度 予算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	2004年度決算額	2005年度予算額	摘要
会費	1,291,000	1,300,000	法人 320,000(2社) 一般 840,000(140名×6,000) 学生90,000(30名×3,000)入会金5,000(5名×1,000)
入場券	7,000	10,000	マスタークラス聴講料、チェロサロン参加費
雑収入	16	-	受取利息
前年度繰越金	3,355,488	3,617,402	
計	4,653,504	5,017,402	

【支出の部】

(単位：円)

項目	2004年度決算額	2005年度予算額	摘要
会報作成費	404,250	300,000	131,250円×2回(第23~24号)
通信費	69,800	100,000	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	-	-	
総会・評議委員会経費	225,135	250,000	総会・評議委員会軽食代、交通費
事務諸経費	11,940	50,000	宛名ラベル、プリンターインク、振込手数料
会員証作成費	-	10,000	会員証台紙
事業費	72,977	700,000	マスタークラス2回、チェロサロン各2回:300,000/チェロコンgress登録料補助:400,000
ホームページ運営費	252,000	300,000	メンテナンス21,000円×12ヶ月/コンテンツ作成50,000円
チェロコンgress協賛金	-	2,000,000	
次年度への繰越し	3,355,488	1,307,402	
計	4,653,504	5,017,402	

II. 2005年度活動計画

1. インターナショナル・チェロ・コングレス・イン神戸開催（共催者として）

開催期間2005年5月16日（月）～22日（日）
於：神戸国際会議場、ポートピアホール、神戸ワールド記念ホール

2. 評議委員会の開催

年3回程度の開催とする（4月、11月、3月予定）。

3. 会報等の発行

年2回発行予定（6月、10月）。
チェロコングレス開催、チェロサロン等協会活動の実施案内、報告を掲載する。

4. ホームページの充実

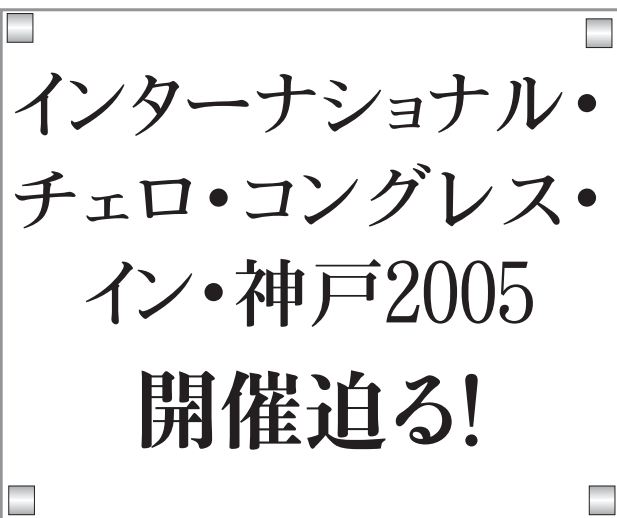
2004年3月に開設し、協会の活動内容・会員コンサート情報等を掲載している
ホームページのさらなる充実を図る。
コンテンツの検討
会員相互情報交換ページの開設
会員からのネットボランティア募集

5. チェロサロンの開催

年2回程度の開催とする。
東京以外の地域での開催も検討する。（過去、大阪・名古屋で実施。）

6. マスタークラスの開催

年2回程度の開催とする。



既に会員の皆様へちらし、パンフレットを郵送させて頂いておりますが5月16日～22日一週間にわたり神戸において「インターナショナル・チェロ・コングレス（ICC）」が開催されます。このコングレスはアジアで初めて開催される国際的なチェロの大会であり、大会名誉会長にロストロポーヴィチ氏、大会会長にグリーンハウス氏、シュタルケル氏を迎え世界の第一線で活躍されているチェリストの皆様がコングレスの趣旨に賛同し、参加を申し出て頂いています（計13ヶ国31名）。

日本チェロ協会は、共催者として、その成功に向けた準備を強力に進めておりますが、このたび、2百万円の協賛金を拠出することが、先日2月24日に行われました評議委員会で承認されました。日本チェロ協会・堤剛会長が芸術監督を務めますこのチェロの世界大会に、一人でも多くの会員の皆様に参加されますよう、そしてすば

らしい感動を分かち合えますよう、改めましてご案内致します。

プログラムは各種コンサート・マスタークラス・アマチュア対象のクリニック・夜のアンサンブルサロンなど充実した内容です。以下の通り、日本チェロ協会評議員および会員の方々が出演されますので応援よろしくお願ひします。

■コンサート

堤 剛（5/16、5/19）倉田澄子（5/17）
斎藤建寛（5/17）山崎伸子（5/17）
岩崎 洸（5/19）酒井 淳（5/17）
林 俊昭（5/17）

■マスタークラス

堤 剛（5/17）山崎伸子（5/18）
倉田澄子（5/18）林 俊昭（5/19）
斎藤建寛（5/19）岩崎 洸（5/19）

また、その他にも会員の長谷川陽子、堀了介先生が1000人チェロで指導して下さいます。

〔全プログラム登録についてのお知らせ〕

引き続き全プログラム登録、寄付金を募集中です。4月1日より一日登録も発売致します。

NPO国際チェロアンサンブル協会、才能教育研究会、日本チェロ協会の会員の方は、全プログラム登録料（38,000円）が2,000円引きになりますが、日本チェロ協会会員に限り当協会より8,000円を補助、合計10,000円引きとさせていただきます。

まだ登録頂いていない方は、奮ってお申し込み下さい。

昨年4月より日本チェロ協会のアシスタントとして奥貫裕子がチェロコンgres担当として準備させて頂いております。評議委員の先生方会員の皆様にはお世話になっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

詳しくはホームページ (<http://www.icc-inkobe.com>) をご覧下さい。

日本チェロ協会ホームページ (<http://www.cello.gr.jp>) からリンクしております。

International Cello Congress in Kobe 2005
In association with the American Cello Council
~1000Cellists Concert~

インターナショナル・チェロ・コンgres・イン・神戸 2005
~1000人のチェロ・コンサート~

日時: 5月16日(月)~ 5月22日(日)

会場: 神戸国際会議場、ポートピアホール、ワールド記念ホール




■概要
マスターコース、ワークショップ、レクチャー、コンサート
チェロアンサンブルコンサート、スズキシルドレンコンサート
第3回1000人のチェロコンサート(ロストロポーヴィチ)

5月16日(月) 登録受付、オープニングコンサート、セレモニー
5月17日(火)~20日(金) 公開レッスン、ワークショップ、レ
5月21日(土)チェロアンサンブルコンサート、スズキシルドレン
5月22日(日)1000人のチェロコンサート

■組織

大会名譽総裁 高内富紀久子殿下	主催 NPO国際チェロアンサンブル協会
特別大会名譽会長 河合肇雄 文化庁長官	共催 日本チェロ協会
大会名譽会長 M.ロストロポーヴィチ	(社)才能教育研究会
大会名譽副会長 R.ヴァン・ハイマー	読売新聞社
大会会長 B.グリーンハウス、J.シユタルケル	特別後援 全米チェロ協会
大会副会長 豊田耕良(才能教育研究会会長)	サントリー
源美隆(全米チェロ協会会長)	特別協力 松下電器産業株式会社
井戸敏三 兵庫県知事	
矢田立郎 神戸市長	
大会名譽委員長 坂田誠	

“チェロサロン” 開催のお知らせ

ご案内しております通り、次回のチェロサロンは日本チェロ協会評議委員の河野文昭先生主宰で、4月10日(日)に開催致します。聴講のみのご参加のお申し込みは、現在受付中です。多数のご参加を事務局一同、お待ちしております。

日時: 2005年4月10日(日) 14:00~16:00
場所: サントリーホール・リハーサル室
主宰: 河野文昭先生
内容: 先生の講義、クリニック

会員更新のご案内

4月で日本チェロ協会も新年度を迎え、会員の皆様へ更新の手続きをご案内させていただきます。同封のちらしをご覧くださいますようお願いいたします。お知り合い、ご友人などで新規入会をご希望の方がいらっしゃいましたらどうぞ、ご紹介下さいますようお願い致します。

[年会費] 一般会員 6,000円
学生会員 3,000円
賛助会員 20,000円以上



堤剛芸術監督からのメッセージ

5月に予定されている神戸国際チェロ大会もいよいよ近づいてまいりました。皆様ももういろいろな形で見聞きしていただいていると思いますが、私達もアジアにおける初めての大会の意義を深く受け止め、チェロの将来に貢献できる立派な大会にすべく全力を尽くしております。おかげさまで多くの方々のご協力ご援助を頂くことができ、人材、内容共に大変多彩なものにすることが出来ました。今大会の目的の一つは「教育の大事さ」の再認識であり、もうひとつはチェロを通しての「平和の願い」です。最終日にはその平和への願いを込めた1000人強の大チェロアンサンブルの響きを神戸から全世界に向けて発信されることでしょうか。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

3月に入っても雪が降ったり厳しい寒さが続いていましたが、もうすぐ4月、桜の開花とともに今年度最後の会報をお届け致します。この1年間、会員の皆様にはイベントへの参加、情報提供など様々なご協力をいただき、どうもありがとうございました。心より感謝申し上げますとともに、さらなるご支援を賜りますようお願い致します。

日本チェロ協会会報 (JCS NEWS) 第22号
2005年3月31日発行
発行: 日本チェロ協会
東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内
電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007
発行人: 堤剛
編集: 日本チェロ協会事務局
編集協力: リュウカンパニー